いわき民報

發行所
平市田町48 電381 176 1222
いわき民報社
編集兼印刷發行人 田原登

黑澤醫院
院長 黑澤廣
小名濱町蛭川南1
（第一小學校前）
電話45番

赤旗立て勞働歌で氣勢 大學市署に押掛く 釋放を迫るも拒絶

勞働者騷ぐ

内郷自由勞組員約百三十名は二十三日午前十一時半ごろ、平公職安所から完全就勞、整理反對の交渉を終つて赤旗を先頭に平市署に押掛け、代表の高萩晋成（内郷自由勞組書記長）宮崎章、野崎峰（平自由勞組長）の三名が宇佐見市署長に面會、午後一時十分迄『逮捕された佐久間、川端は事實暴行恐迫を働いたおぼえがないから即時釋放してくれ』と要望署長は『署では事實にもとずいて行つたもので釋放は出來ない』と反駁、しばし押問答を行つて、代表は佐久間らに面會を求めたがこれも『搜査途上にあるので會わせられない』と斷わられた爲、途に斷念、差入れだけは自由にさせてくれと要望、佐久間らは酒が好きだからこれもゆるしてもらいたいと望んだが斷わられ、午後一時十分面會を打切つて引あげた、この間組合員は署前道路に座つて一時『アカハタ』を歌つて氣勢をあげた

武裝百五十名出動

この日不穩な形勢から植田、錦、勿來、小名濱、内郷、湯本各署からの警官隊の應援を求め約百五十名の警備隊員が平地區市署に參集、午前中は職安所、午後は平市署の警備に當り物々しい狀景を書き第二平事件の勃發かと市民をはら〱させた

暴力化の二名逮捕

平、内郷兩自由勞組員約五十名は二十二日午前十一時ごろ平職安所に押しかけ野崎平、河端内郷兩組合長、佐久間石城地區自由勞組連合協議會長ら十二名が佐藤所長に完全就勞、整理反對を要求したが物分れ午後一時五十分再交渉二時十分退去告示を出した處勞組側は大聲をはりあげてじだんだをふみ佐藤所長に「表に出て皆に話をしろ」と詰めよつたが全所長は『いくら要求されても定められた基準でやる』と突つぱね退去を命じたため代表者と職員の間に組打が演ぜられているうち佐久間は佐藤所長のネクタイを引張り所員が引きはなす等亂暴を働いたが全三時平市署武裝警官隊約百名が出動、佐久間喜代治（三三）河端助松（二四）の兩名を公務執行妨害、建造物侵入容疑で逮捕した

全夜平市署では勞組員たちの釋放要求に備えて全署前に警官を配置して警戒に當つたが午後五時五十分自由勞組員約三十數名が全署を訪れ野崎平組合長が代表として柳田警備課長と會見檢擧者の即時釋放を要求檢擧理由の説明を求めたが拒否され全六時五分引きあげた

約百三十名押掛く きよう午前職安所へ

佐久間連合協議會長、河端内郷組合長の二名を檢擧された内郷の自由勞組員約百三十名は二十三日朝内郷驛前に集合赤旗を先頭に平職安所に押しかけたが全時に平市署警官隊約五十名がピストルを手にした伊藤次席を先頭に到着、續いて内郷の警官隊五十名が到着全所前に勞組員と對峙、全十一時五十五分内郷高萩書記長及平野崎組合長ら代表七名は平山業務課長に「1何故發行容疑で逮捕したか2整理反對3完全就勞を要求逮捕された二名の釋放に協力せよとねばつたが突つ張ねられ全十一時半引揚げ平市署に押掛けた

植田劇場の建設具體化

廿四、五日頃創立委員會

多年來植田全町民に渇望されていた映畫常設館の建設問題はいよいよ具体化し二十四、五日頃創立委員會を招集し株金拂込み其他に關し熟議を遂げる事になつた、該常設館の建設に關しては全町會議員が發起となり他に同意者一千余名の尻押しもあり去る三月中に創立總會を開催する豫定の處、延期となつていたが資本金は三百万円で（全額拂込）で株式會社植田劇場（假稱）とし建設敷地は土木監督所附近の野地々帶約三百坪を埋立すべく目下地主側と折衝中で株金の拂込みが順調に進めば七月中に着工し九月一杯までには近代的娛樂殿堂がお見得し異彩を放つ事であろう

國靈神社祭禮 廿三、四日

上遠野村下瀧の氏神國靈神社の祭禮は二十三日から二日間盛大に催される

平一小校

動植物觀察園設く 理科教育に期待大

去る四月から縣の理科實驗指定校となつた平第一小學校では理科部會を設けてかねて計畫中の中庭及講堂前に動植物觀察園はこの程大部分が出來上り生徒達を喜ばせている

今觀察園は理科、社會課及自由研究の時間を利用して作られたもので二十坪のひようたん池の他金魚池、水田、花園等で二十五日までには山羊、兎、鷄等の飼育小屋（四坪）が完成する、續いて氣象觀測所も設置の豫定である

常磐勞組の役員を改選

常磐炭鑛勞組本部の役員改選は二十一日の臨時大會で次の通り決定した

◇書記長小柳利平◇會計部長矢内源吉◇生產部長伊藤正平、同副部長大倉一章◇敎宣部長作山正二、同副部長岩田友利◇給與部長關林之助、同副部長小林榮敏◇

生產部長樋口勝敏

六月着工

鮫川左岸工事 失業者を優先的に使用する

鮫川の築堤問題に關し昨年の初頭植田、錦町、山田村の三者が合流し期成同盟會を組織しこれが促進方を縣當局に陳情容認され、第一期工事として本年度は約一千万円の豫算をもつて鮫川の海岸築堤工事に着手すべく植田土木監督所では準備を急いでいるが、いよ〱六月一日から着工の段取となつている、尚收容勞務者は公共事業の爲二十%だけ優先的に失業者を使役するとの事である

日米交歡繪畫展

27・8日一小校に開催

平市社會課では日本赤十字社縣支部の協力の下に來る二十七、八の兩日平第一小學校に日米交歡繪畫展覽會を開催する、はるばるアメリカの青少年赤十字團から送られて來たあちらの繪畫と、日本青少年赤十字團がアメリカへ送る繪畫の中から選んだ東京兒童の作品とを展示、繪畫を通して兒童の美術を交換し國際親善の實を擧げ世界の兒童が人種、言語、國境を越えて平和な一つの花の輪に結ばうとする眞摯な姿を見せることになつた

町長杯爭奪野球リーグ 廿七日内郷で

内郷町スポーツ連盟主催第三回町長杯爭奪野球リーグ戰は二十七日午後一時から内郷町宮金坂グランドで開催、常磐製作所、常磐炭礦内郷礦、内郷町スポーツ連盟選拔軍の三チームが參加する

許可なしで飲料水製造 營業禁止命令

平保健所では平市仲町森永芳男（三〇）を無許可で清涼飲料水（みかん水）の製造をなしていた理由で營業禁止を命じた

森永は四月十五日頃から清涼飲料水を製造浪江方面に販賣していたものでこのほかにもモグリでやつているものがあるらしく赤痢未然豫防に嚴重取締りに乘り出すことになり注意を喚起している

高校野球

磐高惜敗 決勝戰で敗る

第二回縣下高校野球大會第二日目は快晴に惠まれて午前十一時若松市營球場に開幕、磐高軍は田村高校を對戰結局十一對四で田村高校と一蹴決勝戰に臨んで双葉高校と一戰を交えたが武運つたなく十三A對七で惜敗した

無錢飲食で捕る

相馬郡大野村住所不定林木商佐川二郎（四二）は去る五日植田町山田別館に宿泊千七百五十円の無錢飲食で植田署へ御用

米泥棒三件

◇大浦村上仁井田字北細谷農業新妻晃（四二）さん方では十八日夜土藏から玄米一俵を盜まれた

◇江名町大字長崎字大平農業佐藤德太郎（二三）同じく作山二郎（一九）は去る五日夜共謀の上同字地内漁業新妻豐太郎さん方の倉庫へ侵入、大豆一俵玄米三俵を竊取したことが判明二十二日送檢された

◇草野村下神谷字東力農坂本三藏（六九）さん方では十七日午前一時ころ玄米六斗、小豆七升を盜まれた

高壓線に觸れ墜落し重傷 雀の巣を取り

二十二日午後五時頃平一小校生徒阿部一君（一一）は平市松ヶ岡公園下磐越東線の信號機に雀の巣を取ろうとしてよじ上り高壓線に觸れ墜落、頭部に裂傷を負い重傷、竹林醫院にかつぎ込んだが命はとりとめる模樣

ガソリン泥

平市鎌田町岡田ミルクプラント雇人自動車運轉手高橋傳（二五）は去る三月から五月まで同プラント油倉庫からガソリン一石三斗を竊取、好間村上好間字馬場前氷卸賣商鈴木力松（四八）に約六斗近くを賣渡したこと判り二十日夜平地區署員に捕まつた、鈴木も藏物故買の疑いで取調べ中

天気予報 二十三日

【今晩】北の風弱く時々薄雲の出るよい天氣、明方は冷込みましよう【明日】北の風、初め晴間もあるが次第に雲を增してきましよう、海上は今明日はおだやか

初夏の味覺！
生ビール
新開樓
平市中央通 電1136

下宿人を求む（委細面談）
姓名在社

最も新らしい加工法で
此の質 此の風味を!!
麵類の委託加工は
多少に抱らず御利用下さい
出張扱店 平驛前丸通裏通り
工場 平市古鍛冶町三三
永島製麵工場
電話一〇九四番

五月人形

一家で樂しく
祝いましよう
ふくたや
平市二丁目 電748

御利用下さい
羊毛委託加工と
羊毛買付を開始いたして居ります
營業品目
毛織物
毛メリヤス
毛糸
一般裁縫
坂本產業株式會社
平市月見町五八番地
電話一〇五七番

なつかしい
風味 やぶ投で
江戸前
立喰 寿し
ちらしすし
出前迅速
新扇屋
平市中央通り 電886

アイスキャンデー
原料問屋
★香料色素★氷水用甘味料★キャンデー用箸★經木★ソーダ水用機具★クリーム用箱★各種シロップ★セトビキタンク★セトビキバト★配達迅速★新規開業の方には特に技術員を出張させて御説明致します
★住込女店員急募
優良品質
本位の店
東京屋 上田德久商店
平驛前大通り いわき民報社隣 電五六一番

香料 染料
白髮染
八千代染
平市五丁目
平藥局

おできくさ、胎毒
ヒフ病退治藥種々
手當法養生法親切丁寧にお話します
遠くからワザ〱來られた方々の感謝狀澤山 愉快です
藥のことなら勉强している
ダルマ藥局
小名濱町本町電二三一番

◇傳統ト性能ニ輝ク
瑞光式籾摺機
三德式籾摺機
三德方石米攪機
佐竹式精米麥機
ホーデン式精米機
中村式製粉機
丸六式製粉機
丸宮式脫穀機
三菱製モートル
正金商會支店
湯田商會
平市紺屋町（土橋）
電話一一九八番

汚名
生命をかけた戀も
捨てねばならぬ
女スパイの運命！
イングリツド・バーグマン
ケイリイ・グラント
ヒツチコツク監督
24＝28日
聚樂館

水産版

岩手青森に申入れ

29日 縣が漁區開放を促進

底曳

縣底曳組合連合會役員會は二十日午後一時より小名濱で開き福島宮城漁場調整成立の件ほか一件の報告がありこれに續いて岩手、青森漁業協定の促進（二十九日縣會、業者代表が兩縣に漁區の開放を申入れる）、漁業金融の對策（各ハマ代表からなる對策委員の一行が乘出資金一億円の融資保證を得るため二十二日出福縣に陳情する）日本機船底曳漁業協會理事四名の推薦（江名坂本義信、同吉田豐吉、小名濱田島繁夫、四倉鈴木常松）をはじめ二十五年度豫算案等を審議した

縣漁船保險組合長鈴木貿二氏は四日付で農林省から漁船再保險審査委員に任命された

26日縣旋網の定時總會

縣旋網漁業協組では二十六日午後一時より小名濱町の同協組事務所に於て定時總會を開き次の議案を附議する

△水産廳長官通牒に基く定款一部變更の件△事業報告書財産目錄、貸借對照表損失金處分案承認の件△組合長、理事、監事選擧の件

宮城の サバ漁に横槍

入會協定まで待て

鹽釜に寄港中だつた四倉の揚繰船不動丸（二八トン）大昭丸（二六トン）御靜丸（二九トン）はサバ群を發見したため十三日から一日で二万五千貫から一万貫の豐漁に惠まれこの朗報を得た本縣揚繰船約七統はこのサバ群を追つて現地に到着、引續いて漁勞に從事しているがこれを見た宮城縣側の建網業者がむくれ出し

今年はまだ福島と入會協定が出來ていないのに宮城縣沖でサバをとるのはケシカラヌ

と横槍を入れたため問題となつた、このため本縣から松井水産事務所長らが宮城縣水産部に接衝のため十九日出張したが同縣側では相變らず『正式の入會協定が出來るまではサバ漁勞はお斷りだ』との態度をとつているので縣旋網漁協組の八代係員が現地に踏みとどまり二十日に開いた、同縣の建網業者と旋網關係者との協議會に臨みての結果を持ちかえりその上で本縣側の態度を決めるべく豫定されてるが同係員は現地の會議が永引いたためか二十二日には歸縣していない、なお昨年の入會隻數に十七統である

待てば魚がいなくなる

右について縣旋網漁協組では『漁場が果して宮城縣沖か本縣沖かは海の上なので斷定が難かしい、何れにしても不漁で喘ぐ揚繰船の立場にすれば公海でみす〳〵サバの大群を見逃す譯にも行くまい、物事は大局的に考えなければ解決は出來ない、魚が回游しているのに獲るなと云う方が無理だ協定は廿七日には關係各縣の入會協議會があるのでその席上で決るだろうがそれまで待てば肝心のサバがいなくなる』と語つている

☆★☆★☆★☆★☆

長持も繰出して 大漁を祈願

小名濱諏訪神社大祭

★☆★☆★☆★

漁船乘出しの都合により船主側の申入れで九日間延期していた小名濱町諏訪神社の例大祭は舊曆四月八日に當る五月廿四日大漁祈願をかねて盛大に擧行する、特に今年は同神社が建仁元年磐崎將監が大字岡小名字宮の作地内に建立してより丁度七百五十年（現在地への遷座は五百六十八年前）に當るのでこの式典も併せて行われる、この七百五十年祭を記念して同町では各船主造船所の寄附による神樂殿の奉納式、夏井村大國玉神社氏子による太々神樂の奉納、渡邊村田邊青年團一行二十名による名物『長持』、小名濱青年會の屋台等が繰出る船主、造船所が奉納する神樂殿は百万円を投じ昨年二月に着工、同八月に完成したもので七坪半本殿の西南にある朱塗りつくりである、この日は各船とも休漁し豐漁を祈願する善男善女たちで街は大賑わいが豫想されている

小名濱底曳漁協組の 經營合理化を紹介

日本銀行等で大いに賞讃

日本銀行貯蓄推進部で發行している『貯蓄時報』第五號誌に『漁業協同組合經營合理化の模範的實例』と題し小名濱底曳網漁業協組（組合長田島繁夫氏）の經營特に資金計畫の徹底振りを紹介して關係者の耳目を惹いた、これは日銀福島支店の調査によるもので『漁村經濟協會』でも更に同協會報を通じ全國各協同組合にこの模範的實例を發表することになつている、以下はその貯蓄時報に掲載された同協組の運營狀況である

▽…『板子一枚下は地獄』といわれ『宵越の金は使わぬ』という漁業家の生活も今は昔のこと、本縣漁業の大宗であるいわし揚繰網の四年越の不況に遭遇り漁業家はいずれも相當の痛手をこうむり昨年は乘出資金の調達に狂奔したということこれはまた珍らしくもこれらの漁業の特殊性から生ずる各種金融上の困難を克服し漁業手形制度そのものは利用しないがその趣旨を最高度に生かした方式を採用し着々と堅實なる經營を實行しつつある小名濱底曳網漁協組の實例をここに紹介する

▽…資金計畫の徹底—昨年六月組合員四十一名を擁して設立された同組合の幹部がまず着目したことは從來業者にみられた放漫なる經營、計畫性なき資金の浪費であつた、豐漁による利益を再生産費にあてることなく不急面の住宅建築費に流用し將來の不漁によつて巨額の債務に窮々たるが如き『舟喰虫』的生態は多々業界に見受けられるところであつた、これを是正しなければ將來の不況に耐えることができないとして幸い元貯蓄銀行員で計理士をしていた者を會計主任に招き徹底的な資金計畫啓蒙運動を開始した

▽…水揚の確保、大漁貯金の勵行—乘出資金の融資を受けるにしてもまたその返濟に際しても各組合員の唯一の收入源たる水揚を確保しなければ信用の基盤は失われ、金融機關から授信されるわけにはゆかないことを強調して各員が自發的に水揚の嚴正なる確保を勵行した、それに依つて昨年八月末漁期に入る十月より十二月までの水揚の二割を返濟の條件として乘出資金九百万円を銀行から融資を受け組合員一[illegible]り二十三万円の貸付を實行した、十二月一日この借入金を完濟したが各員の要望によつて引きつづき水揚の一割乃至二割を『大漁貯金』と名付けて特別當座預金（二十五年二月末殘百二十万円）として積立を繼續した

▽…相互救濟貯蓄會を結成—組合所屬船が不慮の災難に遭遇する場合を豫想し相互救濟貯蓄會を結成した、毎月一隻當り二万円を積立て全損の場合には二百万円を補償し無事故のときは拂戻し乘出資金の一部に補充する仕組の一種の自家保險であつて定期積金に加入し契約額七百四十万円として二十五年二月末三百六十五万円に達した

▽…代金回收の確實化—かつて行われた札制を統制撤廢後の對策として復活し、鮮魚賣却代金の回收の確實性を圖つた、即ち札制とは荷受人を制限し組合の承認した一定の資格を有する荷受人以外とは取引しない制度であつて一定の資格とは保證人の連署ある誓約書を提出せしめ資力におうじて買付限度を設定してその二割を保證金として組合に供託させ代金決濟は一週間以内とし若し延滯或は限度を超過した場合は賣渡を停止、市場内に掲出の名札（表は黑字裏は赤字）を裏返して組合員に周知せしめる方法である、現在までの荷受人は八十名を算し保證金百二十五万円に達している

△…結論—以上の如く組合發足以來極めて堅實な發展を見ておりしたがつて取引銀行としてもこの經營振りに信頼して水揚代金の支拂に事缺かぬよう十分面倒を見ており本年も引續き融資することになつたよつて組合員は水揚と同時に現金がつかめるので勢い漁獲を他へ隱揚して逃げると云うことも一切なく一事が万事よく協調して漁協組の向上に邁進している、各組合がこの組合のように漁業の不安定性を安定性に變え計畫的經營、しいては資金の計畫的使用を工夫してゆくならば漁業手形創設の趣旨も生きることと考えられる

底曳船のビン長釣

一航海で九十萬圓也

大型船は案外不振

いよ〳〵本格的なカツオ漁獲戰に入つた本縣のカツオ漁業は漁場が小名濱三、四十マイル沖合にあるため十二、三隻のカツオ漁船がいま漁獲のたけなわにあるが餌付が余り良くないためまだ大した漁獲をあげていない、またこの附近はビンチヨウ鮪が二十度の水帶を中にはさんでカツオと共に群をなしているが相當有望視され縣水試無線局の話では本縣の底曳船が約四十隻もビンチヨウ鮪を追つて出漁しており一航海三日で良い船は三千貫（貫三百円の換算で九十万円）もあげており大型船顏負けの豐漁を見せているものもある、また大型カツオ船は金華山から本縣沖合にかけて約八十隻に近い漁船がカツオ漁に從事している、なお大型船は一航海五日間位

底曳船が釣竿をもち出して鮪を追うのは今年が始めてで漁況次第では本業の底曳にいつでも還えれる所謂二足草鞋の態勢でいる

カツオは沖合が有望

共盛丸の漁況便り

二十日深更小名濱町縣水試無線局が沖合漁場よりキヤッチしたカツオ漁況並に海況は次の通り

△指導船共盛丸の觀測に依れば鹽屋東微南二百マイルには既に二十一度の暖水があり潮境はまだわからぬが今後この方面に漁場が拓ける模樣△大東丸の觀測に依れば北緯三十六度東經百五十二度には二十度の水が東方から伸び鰹の群[illegible]いる、野島東微北百五十マイルの潮境に操業する船が多い、又親潮系の冷水は下層水溫を見ると金華東二百四十マイルから野島東二、三十マイルを經て鳥島東方に伸びているがこの冷水の東方には暖水が北上しておりこの方面も有望である

漁況日報

廿五日から

カツオのシーズンを迎えて縣水産試驗場では二十五日からカツオ漁況速報を發表することになつた、今までは旬報だつたが今年は日報にする計畫等溫線圖の中に主要漁場を記載することになつている

小名濱底曳 海難救護會

會長に田島氏

小名濱底曳網漁協組では十九日午後一時より船主會を開き『小名濱機船底曳海難救護會』を結成、會長に田島繁夫、委員長田中常太郎、副委員長比佐眞平、同野崎武一氏らの役員を選任した

漁船保險の總代會

縣漁船保險組合では二十九日午後一時より縣水産事務所に通常總代會を開き次の事項を協議する

△決算承認の件△定款中一部變更の件△組合長の保管すべき現金最高額決定の件△余裕金預入先銀行の決定△評價委員追加の選任△二十五年度役員報酬の決定△廿五年度事業計畫承認の件

☆…今週の潮…☆

	滿潮	干潮
十一日	〇、四〇分 一二、[illegible]	[illegible]
十二日	一、[illegible] 一三、[illegible]	[illegible]
十三日	一、[illegible] 一四、[illegible]	[illegible]
十四日	二、[illegible] 一五、[illegible]	[illegible]
十五日	二、[illegible] 一六、[illegible]	[illegible]
十六日	三、[illegible] 一六、[illegible]	[illegible]
十七日	三、[illegible] 一七、[illegible]	[illegible]

小名濱機船底曳網
漁業協同組合
組合長 田島繁夫
電話二五九・二六五番

小名濱鎭座 5月24日（舊4月8日）
大漁豐年祈願 諏訪神社七百五十年祭

小名濱鎭座 諏訪神社氏子
總代長 小濱長太郎 總代 水野政次郎
總代 馬上德十郎 總代 村上重一
外總代 世話人一同

小名濱鎭座
諏訪神社社務所
宮司 小名川年雄
禰宜 厨川秀雄

福島縣旋網漁業協同組合
小名濱漁業協同組合
組合長 三代義勝
電話二・二八〇番

土木建築請負
作山工務所
作山安太郎
小名濱町古湊
電話一一九番

新裝が出來ました
御饗食は和洋食
末廣
柴山仙助
電話四三八番

定置漁業
觀音丸
船主 齊藤誠吾
電話五六番

酢屋漁業部
野崎貞行
電話五五番

香取丸
船主 水野良吉
電話四六番

第三大高丸
泰湯丸
船主 高津忠治
電話一七九番

御饗食は
壽し みなと
小名濱町中島
電話四三〇番

土木建築請負
野口工務所
野口繁
小名濱町下明神町四八
電話[illegible]六七番

時計と眼鏡
菅野時計店
菅野文榮
小名濱町中島

お菓子は
國華堂本店へ
小名濱町上町
電話四六一番

御菓子
國華堂支店
馬目久雄
小名濱町上明神町
電話四六一番

坪内青果店
坪内榮一
小名濱町中島
電二九二番

小名濱衣料品
商業協同組合
サカイヤ支店
鍛冶屋商店
富久屋商店
樋口呉服店
ブチタ商店
さんかんや
かなりや
田村屋商店
タイモン
小野屋呉服店
紙屋呉服店
永山呉服店
安田屋呉服店

銘酒一級酒
磐城櫻
長瀬彰義
小名濱町林城
電話一九五番

銘酒一級酒
養老
草野良太郎
小名濱町本町
電話六二番

銘酒一級酒
清世界
小野義一
電話六番